

国行 紀子

1 昭和二十年八月十七日～二十年九月十四日 福光 二部四年
付 父の手記

戦後三年経って、日本の復興期のある日、くずかごに捨てられている私の疎開学園当時の日記の一部を父が見つけ、手記をつけてひもどじ、すぐに返してはまた捨てると思ってたか、その後十年近く経って、私に返してくれた。今ではかけがえない宝物の一つになっている。

△ 思へば戦争の一番の被害者は子供達である。この日記はただ紀子の疎開学園の日記とのみ考へることは出来ない。太平洋戦争の戦記のページだと思ふ▽ 父の手記より、原文のまま

昭和六十三年八月記す

武井 紀子